

行を經、文化八年三月若年寄に進み、文政元年十二月致仕して誠齋と號し、料七百石を受けた。

マヘダタカモト 前田孝本

加賀藩の老臣前田長種系の第九代。孝友の五男。文化五年四月八日出生。幼名豊之介、後彈番・大炊。初諱孝敬。文政四年八月六日家祿一萬八千五百石(内三千百石與力知)を繼ぎ、天保二年十二月廿六日從五位下美作守に任ぜられ、十三年七月故志摩直成の家名を立てる爲、知行の内五百石を伊藤主馬の弟新之丞に配知して前田氏を稱せしめ、安政三年九月十二日江戸に於いて歿した。享年五十。佛心院默外源徹居士と諡し、金澤玉龍寺に葬る。

マヘダタカヤス 前田孝慈

加賀藩臣。通稱齋宮・數馬。初諱豊處。明和八年養父式部矩豐の遺知三千石を襲ぎ、小松御城番・今石動等支配・公事場奉行を經、天明四年九月若年寄に進み、七年六月二十日五十八歳で歿した。

マヘダタカユキ 前田孝行

加賀藩の老臣前田長種系の第五代。孝貞の嫡子。寛文三年十月十七日出生。通稱萬勝・與十郎・對馬・美作。天和三年三月廿五日新知三千石(内五百石與力知)を賜ひ、元祿十年六月父孝貞致仕せるを以て、家祿二萬千石(内三千百石與力知)を受け、十六年十二月十八日從五位下美作守に叙任し、享保六年九月十四日五十九歳を以て歿した。法號長祥院寶山源壽居士、金澤玉龍寺に葬る。

マヘダツナトシ 前田綱利

↓マヘダツナノリ 前田綱紀

マヘダツナノリ 前田綱紀

代。光高の嫡男、母は清泰院。寛永二十年十一月十六日江戸に生まる。幼名犬千代。正保二年六月十三日家督相續。承應三年正月十二日正四位下左近衛權少將兼加賀守に叙任、徳川家綱の偏諱を賜うて綱利と稱した。関十二月二十七日左近衛權中將に陞り、寛文元年七月初めて入部し、貞享元年正月元日諱を綱紀に改め、元祿六年十二月朔日參議に任じたが、

マヘダツネナカ 前田恒長

加賀藩臣。通稱權佐。貞享二年父權佐恒知の遺知三千二百石を襲ぎ、後五百石を加へ、元祿六年定火消・奏者番、七年江戸御留守居、十六年前田吉徳附等に歴任し、享保三年九月九日六十七歳を以て歿した。

マヘダトシアキ 前田利明

大聖寺藩主第二代。加賀藩主前田利常の五男、母は南嶺院。寛永十四年十二月十四日金澤に生まる。幼名萬吉丸・美濃・大藏。初諱利成。萬治二年二月十五日初代利治の養子となり、十二月廿七日從五位下大藏少輔に叙任、三年七月三日封を襲ぎ、十二月廿五日飛騨守と改めた。同年八月所領越中新川郡の地を加賀能美郡六ヶ村及び江沼郡那谷村と交換、寛文二年六月廿八日初めて入部、三年十二月廿八日從四位下に陞り、元祿五年五月十三日江戸に卒した。享年五十六。法號大機院賢翁紹英大居士。實性院に葬る。後大正六年十一月十七日正四位を追贈せられた。

マヘダトシアキ 前田利精

大聖寺藩主第六代。前田利道の二男、母は圓成院。寶曆八年十一月十五日大聖寺に生まる。幼名勇之助。十年五月二日先に兄利貞が歿したので世嗣となり、名を造酒丞と改め、安永三年九月五日江戸に出で、六年十二月十八日從五位下美作守に叙任、七年五月廿五日利道致仕して統を受け、七月四日備後守に改め、八年五月十一日初めて入部した。然るに天明二年五月四日不行跡を以て加賀藩主前田治脩から大聖寺に於いて閉居の命を受け、八月廿一日致仕を許

マヘダツネトモ 前田恒知

加賀藩臣。通稱長次郎・權佐。内記直知の四子。初め兄直正の祿三千石を分かち領し、慶長十六年前田利常の小松隱棲に従ひ、承應二年二百石を増

マヘダトシアツ 前田利厚

し、延寶七年九月小松御城番となり、貞享二年三月廿四日歿した。

マヘダトシアツ 前田利同

加賀藩主第十三代前田齊泰の十一男。母は賀古氏。安政三年六月廿七日江戸に生まる。初名茂松・彌松。六年十一月廿一日富山藩主第十二代前田利聲の嗣となりて封を襲ぎ、明治元年二月十三日松平氏を前田氏に復し、二年六月二日去年北越に於ける戦功によりて賞典祿五千石を受け、同月七日從五位下淡路守に叙任、同月八日從四位下侍從に轉じ、同月十七日版籍を奉還して富山藩知事に任ぜられ、七月十四日知事を免じ、十七年七月七日伯爵を授けられ、大正十年十二月廿三日正二位に陞り、同日東

マヘダトシアツ 前田利章

大聖寺藩主第四代。加賀藩主前田綱紀の五男、母は保壽院。元祿四年三月十六日金澤に生まる。幼名富五郎、寶永四年七月十日富丸と改め、同月十一日造酒丞と稱し、五年十二月十八日從五位下備後守に叙任。七年十月廿八日先代利直の嗣子となり、十二月十三日利直が卒したの

マヘダトシアツ 前田利篤

で、正徳元年正月廿九日家督相續を命ぜられ、同年九月二日初めて入部、享保元年十二月十八日從四位下に陞叙、元文二年九月六日大聖寺に卒し、七日發喪した。享年四十七。法號正智院廓巖泰然大居士。實性院に葬る。

マヘダトシアツ 前田利厚

↓マヘダナリミチ 前田重敬

マヘダトシアツ 前田利廣

され、六年四月十四日金澤に移り、寛政三年五月廿一日復大聖寺に歸り、九月十五日卒し、十七日發喪した。享年三十四。法號高源院天然良池大居士、實性院に葬る。利精には華山の號がある。

マヘダトシアツ 前田利章

大聖寺藩主第四代。加賀藩主前田綱紀の五男、母は保壽院。元祿四年三月十六日金澤に生まる。幼名富五郎、寶永四年七月十日富丸と改め、同月十一日造酒丞と稱し、五年十二月十八日從五位下備後守に叙任。七年十月廿八日先代利直の嗣子となり、十二月十三日利直が卒したの

マヘダトシアツ 前田利篤

で、正徳元年正月廿九日家督相續を命ぜられ、同年九月二日初めて入部、享保元年十二月十八日從四位下に陞叙、元文二年九月六日大聖寺に卒し、七日發喪した。享年四十七。法號正智院廓巖泰然大居士。實性院に葬る。

マヘダトシアツ 前田利厚

↓マヘダナリミチ 前田重敬

マヘダトシアツ 前田利廣

大正十年十二月廿三日正二位に陞り、同日東